

2018年6月20日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

三菱地所株式会社が
総合不動産会社として国内で初めて発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、三菱地所株式会社（以下、三菱地所）が発行するグリーンボンド⁽¹⁾「三菱地所グリーンボンド」（5年債200億円）の引受けにおいて事務主幹事およびGreen Bond Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。本件は総合不動産会社が国内で初めて発行するグリーンボンドです。

三菱地所グループでは、「住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献すること」を基本使命とし、中期経営計画（2018年3月期~2020年3月期）においても、「ESG⁽³⁾の先進企業としての地位確立」を目標に掲げ、開発・建設段階での環境配慮の徹底、維持管理段階での環境破壊に繋がる要素の削減など、事業全体での社会的な負荷低減に取り組んでいます。

今般発行するグリーンボンドにより調達された資金は、東京駅日本橋口前にて開発中の東京駅前常盤橋プロジェクト（大手町二丁目常盤橋地区第一種市街地再開発事業）のA棟建設資金に充当される予定です。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債	券	名	： 三菱地所株式会社第 127 回無担保社債 (担保提供制限等財務上特約無) (三菱地所グリーンボンド)	
取	得	格	付	： AA- (R&I)、A+ (S&P)、A2 (Moody's)
年			限	： 5 年 (2023 年 6 月 26 日償還)
発	行	額	： 200 億円	
利		率	： 0.090% /年	
払	込	期	日	： 2018 年 6 月 26 日
主	幹	事	： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、大和証券 Green Bond Structuring Agent 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券	

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。三菱地所のグリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している (第三者機関 : Sustainalytics)。
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- (3) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上